

2006年7月1日(土) 2日(日)
お茶の水女子大学

大会企画公開シンポジウム

グローバル社会の 子どもの危機と危機介入

—コミュニティ・サイコロジストとしてのあり方を探る

7月2日(日) 10:00～12:00
共通講義棟2号館201号室

シンポジスト

飛鳥井 望 東京都精神医学総合研究所 参事研究員、日本トラウマティック・ストレス学会 会長

本田 恵子 早稲田大学 教授

田中 好子 「パレスチナ子どものキャンペーン」特定非営利活動法人 事務局長

コメンテーター

高島 克子 東京女子大学 教授、日本コミュニティ心理学会 会長

コーディネーター

加賀美 常美代 お茶の水女子大学 助教授

会員以外の方もぜひご参加ください。
公開シンポジウムのみ参加の方は参加費1000円をいただきます。

共催 ● 日本コミュニティ心理学会第9回大会準備委員会、
お茶の水女子大学特別教育研究事業「コミュニケーション・
システムの開発によるリスク社会への対応」
後援 ● お茶の水女子大学文教育学部グローバル文化学環

大会企画講演

人間発達の可塑性 — リスク社会における子どもの育ち

内田 伸子 お茶の水女子大学 教授、副学長

7月1日(土) 15:30～17:30

研究委員会・倫理委員会企画シンポジウム

コミュニティ心理学における倫理問題

司会：北島 茂樹 産業医科大学 教授

7月2日(日) 13:30～15:30

国際交流委員会企画講演

Supporting Adolescents at Risk:
Promise of Youth Companion Program in Korea

Kyung Ja Oh 釜世大学校 教授

司会：通訳：徳尾 敏明 国際基督教大学 教授

7月2日(日) 15:30～17:00

◎口頭発表・ポスター発表 7月1日(土) 10:00～12:00 13:30～15:30